

令和元年度事業評価の実施方法について

人と防災未来センターの事業評価を実施するにあたり、以下に示す方法により評価を行う。

1 評価方法

令和元年度事業成果等の評価「どれだけ成果を得たか」

- ・事業評価委員会資料として、事務局は「中期計画（平成 30 年度～令和 3 年度）の令和元年度における達成状況及び自己点検評価」（資料 2）を作成し、その中で、当該年度内の成果及び、それを踏まえた自己点検評価を行う。
- ・委員会は、評価単位ごとに 4 段階で評価を行う。
（S：大変評価できる、A：評価できる、B：あまり評価できない、F：評価できない）

※ 設置要綱第 2 条 「事業評価委員会は、…事業の成果等を評価し意見を述べるとともに、助言を行う。」

2 評価単位

令和元年度 ： 分野単位（計 5）

- ・委員会の評価は、評価単位（下記 5 分野）ごとに行う。

【対象分野】（5 分野）

- 展示
- 資料収集・保存
- 実践的な防災研究と若手防災専門家の育成／災害対応の現地支援・現地調査
- 災害対策専門職員の育成
- 交流・ネットワーク

※「災害対応の現地支援・現地調査」は、平成 27 年度事業まで独立して評価していた分野であるが、災害対応の現地支援・現地調査で得られた知見をもとに実践的な防災研究が進められることから、二つの分野を合わせて評価を行うこととした。